

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査の目的は、家庭から排出される家庭系ごみ(生ごみ、その他の紙、雑がみ)、事業所などから排出される事業系ごみについて組成割合を調査し、ごみの排出状況を把握するとともに、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料とすることである。

2. 調査実施内容

① 家庭系（可燃）ごみ

- 【実施日】 平成29年9月19日（火）
- 【調査場所】 弘前地区環境整備センター（弘前市大字町田字筒井 6-2）
- 【季節】 春・夏・**秋**・冬
- 【試料採取地域】 独狐、前坂地区
- 【集積所の形態】 **ステーション方式（町会等）**、ステーション方式（集合住宅）、毎戸方式
- 【備考】 ポリバケツ、**集積ボックス**、防鳥ネット、三方コンクリート
- 【可燃収集曜日】 火曜・金曜
- 【想定条件】 農村地域
- 【採取量】 201.5kg（集積所5か所分）
- 【気温（平均）】 20.3℃
- 【収集時間】 10分

② 家庭系（その他の紙）

- 【実施日】 平成29年9月28日（木）
- 【調査場所】 弘前地区環境整備センター（弘前市大字町田字筒井 6-2）
- 【季節】 春・夏・**秋**・冬
- 【採取量】 301.0kg
- 【気温（平均）】 12.4℃

3. 調査手順

（1）試料の回収

① 家庭系（可燃）ごみ

調査対象の集積所から市職員がごみを回収し、指定の場所に搬入する。

② 家庭系ごみ厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）

①で調査した厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）を回収し、指定の場所に搬入する。

③ 家庭系（その他の紙）

中間処理施設へ持ち込まれた資源物を施設担当職員の誘導のもと、指定の場所に搬入する。

（2）分類及び重量の記録

搬入された試料の分類を行い、組成区分ごとに重量を計量し、記録する。

第2章 調査結果

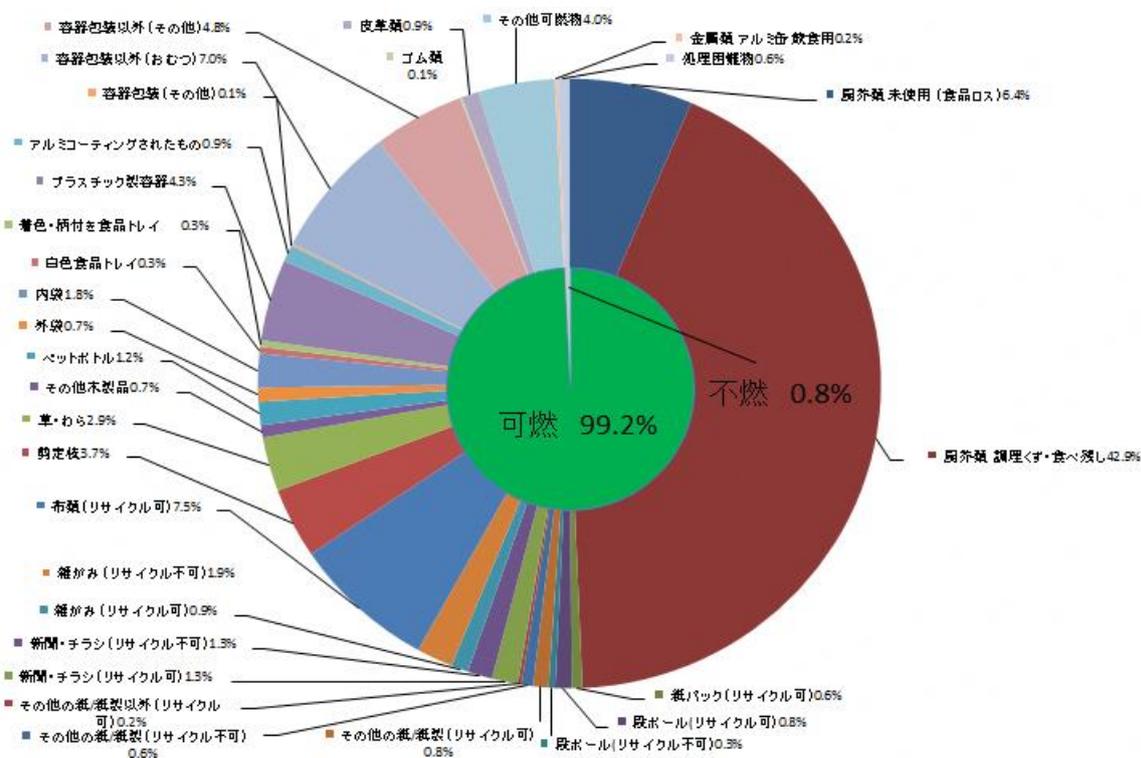
① 家庭系（可燃）ごみ

今回実施した組成分析調査の調査結果を別表に示した。

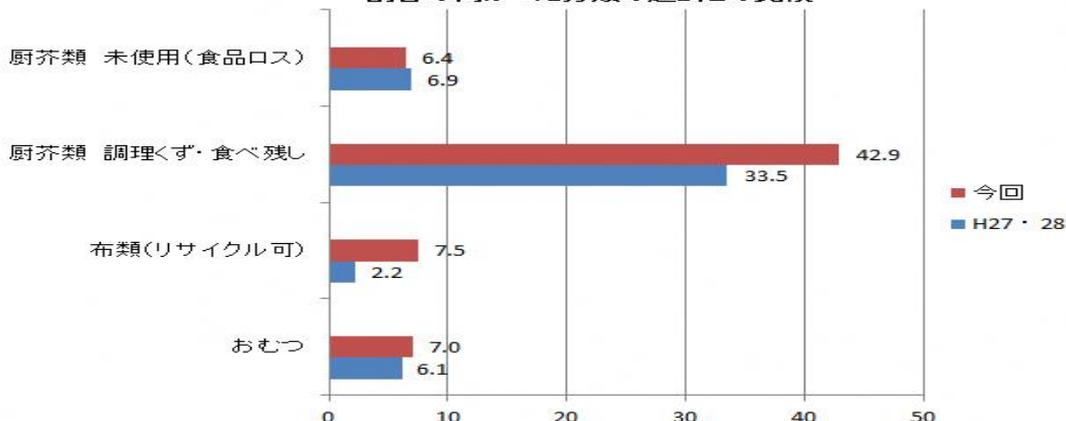
重量比で10%以上の大分類の組成項目は「厨芥類（生ごみ）」（49.3%）、「プラスチック類」（21.4%）2種であり、全体の約70.7%を占めていた。

個別に見ると、厨芥類（生ごみ）「調理くず・食べ残し」（42.9%）、布類（リサイクル可）（7.5%）、おむつ（7.0%）の割合が高かった。

傾向としては、平成27～28年度実施分（計14回）と比較して、「厨芥類全体（平成27～28年度平均40.4%）」、「布類（平成27～28年度平均4%）」の割合が高く、「紙類（平均27～28年度平均20.8%）」の割合が低かった。昨年までの傾向として農村地域で厨芥類（生ごみ）の割合が高い傾向にあり、今回も同様の結果となった。また、今回排出された衣類は全てリユース（再利用）可能なものだった。



割合の高かった分類の過去との比較



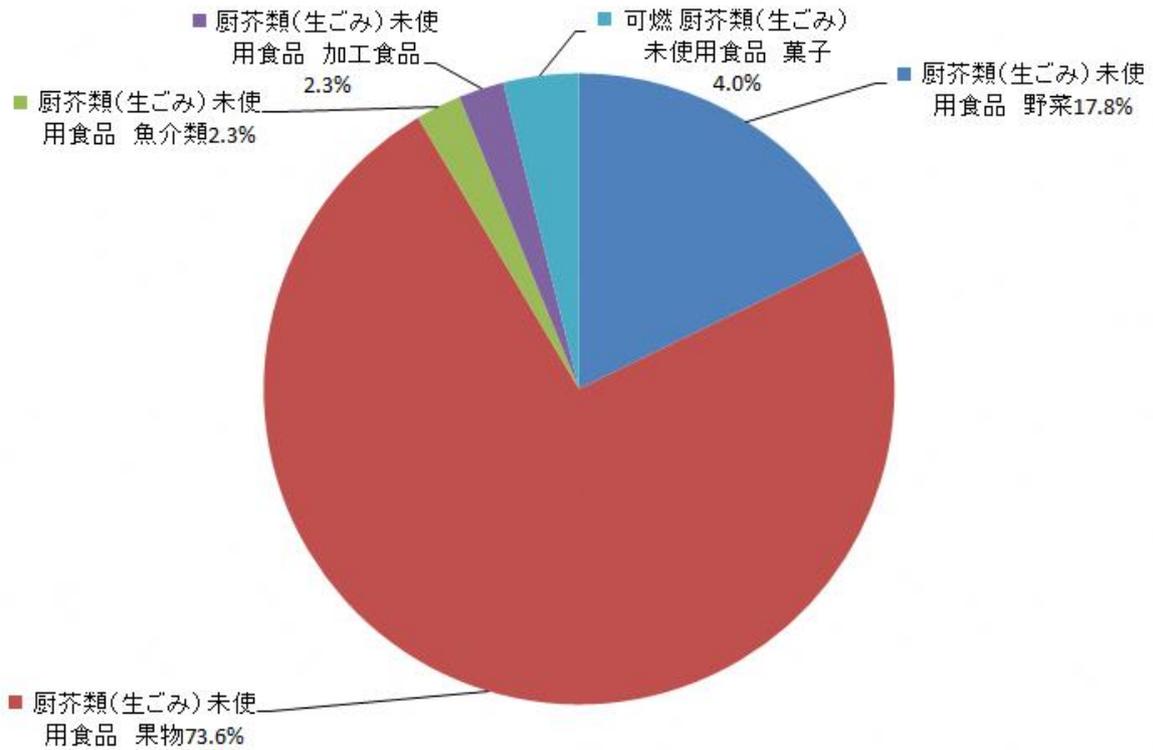
②家庭系（可燃）ごみ 厨芥類 未使用・食品ロス

今回実施した組成分析調査の調査結果を別表に示した。

厨芥類（生ごみ）の未使用（食品ロス）についてさらに細分化し調査した。

割合として多かったものは、果物（73.6%）、野菜（17.8%）の2種類で全体の91.4%を占めていた。

傾向として、農村地域ということもあり、りんごやなしなどの果物の排出が多かった。



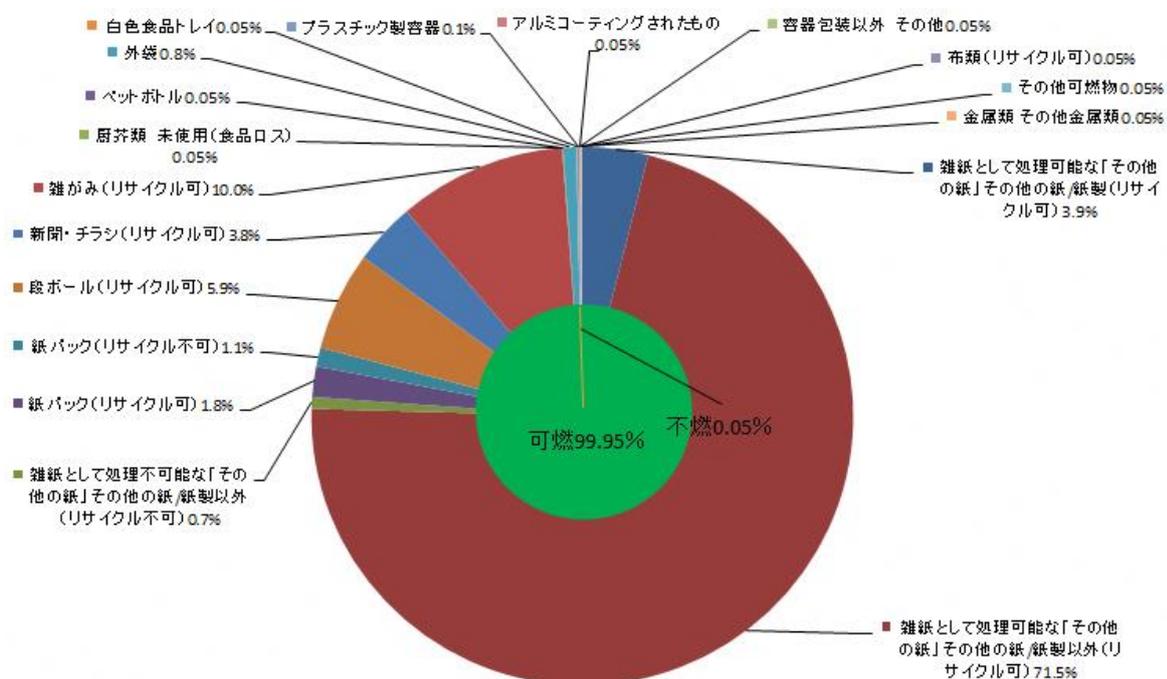
③ 家庭系（その他の紙）

今回実施した組成分析調査の調査結果を別表に示した。

割合が高かったものは、「その他の紙（紙製以外・リサイクル可）」（71.5%）、「雑がみ（リサイクル可）」（10.0%）の2種で全体の81.5%を占めていた。

平成28年度実施2回分の平均と比較すると、「その他の紙/紙製（リサイクル可）」【28年度平均67.1%】の割合が低く、「その他の紙/紙製以外（リサイクル可）」【平成28年度平均1.4%】の割合が高かった。

今回の調査では、ティッシュ箱のビニールが付いたものが半分程度、タバコの箱の銀紙が付いたままのものがほとんどであった。また、事業系から排出されたと思われる卵のトレイが大量に排出されていた。



第3章 分別適正率

①家庭系（可燃ごみ）

分別適正率とは、家庭系（可燃）ごみに出されたごみ総量から、紙類・布類のリサイクル可のもの、ペットボトル、不燃物、処理困難物を差し引いた割合のことである。

今回の調査では分別適正率は85.9%（平成27～28年度平均85.8%）となった。

算定式

分別適正率＝総量－【紙類（リサイクル可）＋布類（リサイクル可）＋ペットボトル＋不燃物＋処理困難物】

$$=100\% - (4.6\% + 7.5\% + 1.2\% + 0.2\% + 0.6\%) = 85.9\%$$